

## 令和2年度 公益財団法人福島県青少年育成・男女共生推進機構 事業報告書

(平成2年4月1日～令和3年3月31日)

当法人の目的である“ふくしまの未来を担う青少年の健やかな成長と、女性も男性も個人として尊重され、互いに支えあい、共に責任を担う社会づくり”を目指して、法人経営計画及び年度事業計画に基づき事業を行ってまいりました。

また、福島県青少年会館及び福島県男女共生センターそれぞれが、施設の効率的・効果的な運用に努め、設立趣旨に沿った事業を積極的に展開するとともに、相互に連携しながら運営の充実に努めてまいりました。

さらに、公益財団法人としての使命や役割を踏まえ、より一層公益性を高めた運営に努めてまいりました。

### 1. 評議員会に関する事項

回	期 日	審 議 事 項	結果
臨 時	令和2年 4月24日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任について（決議の省略）	可決
定時（第1回）	令和2年 6月12日	議案第1号 令和元年度事業報告について 議案第2号 令和元年度収支決算について 議案第3号 理事の辞任に伴う補欠選任について（決議の省略）	可決 可決 可決
臨 時	令和2年 11月19日	議案第1号 評議員の死亡に伴う補欠選任について（決議の省略）	可決
第2回	令和3年 3月26日	議案第1号 令和2年度収支補正予算について 議案第2号 令和3年度事業計画について 議案第3号 令和3年度収支予算について 議案第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第5号 監事の辞任に伴う補欠選任について	可決 可決 可決 可決 可決

### 2. 理事会に関する事項

回	期 日	審 議 事 項	結果
臨 時	令和2年 4月15日	議案第1号 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について（決議の省略）	可決
第1回	令和2年 5月27日	議案第1号 令和元年度事業報告について 議案第2号 令和元年度収支決算について 議案第3号 理事の辞任に伴う補欠選任について（決議の省略）	可決 可決 可決

臨 時	令和2年 6月12日	議案第1号 理事の役職の決定について（決議の省略）	可決
臨 時	令和2年 11月9日	議案第1号 評議員の死亡に伴う補欠選任候補者の推薦について（決議の省略）	可決
第2回	令和3年 3月17日	議案第1号 令和2年度収支補正予算について 議案第2号 令和3年度事業計画について 議案第3号 令和3年度収支予算について 議案第4号 資金調達及び設備投資の見込みについて 議案第5号 特定資産の取崩しについて 議案第6号 監事の辞任に伴う補欠選任者の推薦について	可決 可決 可決 可決 可決 可決

### 3. その他の事項

期 日	事 項
令和2年 5月20日	令和元年度会計及び業務執行状況の監査執行
令和2年 5月15日	令和2年度第1回法人経営会議 (1) 令和元年度事業報告について (2) 令和元年度収支決算案について (3) 新型コロナウイルス感染症への対応について
令和2年 8月4日	令和2年度第2回法人経営会議 (1) 経営概況について (2) 認定法に基づく事業報告、公社等外郭団体の点検評価について (3) 法人経営会議作業部会について
令和2年 11月17日	令和2年度第3回法人経営会議 (1) 上半期の経営状況について (2) 作業部会における検討状況について
令和3年 3月10日	令和2年度第4回法人経営会議 (1) 令和2年度第2回理事会議案（事業計画・収支予算等）について (2) 職員表彰について
令和2年 10月14日 12月4日	第1～2回法人経営会議作業部会 検討事項：令和2年度法人本部経費について

# 令和2年度 事業実績報告書

“ふくしまの未来を担う青少年の健やかな成長と、女性も男性も個人として尊重され、互いに支えあい、共に責任を担う社会づくり”に貢献することをモットーに、「法人経営計画」に基づき、引き続き積極的に事業を展開いたしました。

また、公益財団法人としての役割と責務を十分に踏まえるとともに、福島県の施策との関連性の維持、深化を図り、活動拠点である福島県青少年会館と福島県男女共生センターとの連携を強化しながら、公益性を一層高めた法人運営に努めました。

さらに、東日本大震災や原発事故から10年が経過し、県内各地において復興に向けた様々な取組みが進められている中、当法人としては、新型コロナウイルス感染防止の徹底を図るとともに事業活動をとおして引き続き、「ふくしま」の復興に寄与できるよう努めました。

## ◎ 福島県青少年会館の主な事業

青少年会館の運営にあたりましては、少子・高齢化や高度情報化の進展、就業形態の多様化など青少年を取り巻く社会環境のめまぐるしい変化を踏まえ、青少年の健全育成と子ども・若者への支援を柱とした事業を推進いたしました。

特に、青少年団体、企業、NPOなどとの連携のもとに、子ども・若者の健やかな育成に向けた活動、困難を抱える子どもたちやその家族を応援する活動、子育て世代への支援活動などを推進するとともに、広く情報を発信して、青少年活動の拠点施設である当館に対するさらなる理解と協力をいただけるよう努めました。

また、福島県からの委託により運営している「ふくしま結婚・子育て応援センター」につきましては、結婚マッチングシステム「はび福なび」の運用をはじめとする事業内容の充実を図り、県内企業、団体等からの協力・支援をいただきながら、若者・子育て世代への幅広いサポート活動を展開いたしました。

施設整備につきましては、利用者の安全・安心確保を第一に努め、必要な整備を行いました。

こうしたソフト・ハード両面にわたる事業を着実に実施するため、職員一丸となり、青少年をはじめとする多くの方々による当館施設の利用促進を図るとともに、安全かつ効率的な施設の管理・運営に心がけながら、財政基盤の強化と経営の安定化に努めました。

### 1 青少年会館管理運営事業

#### (1) 経営計画の着実な実行

経営計画（平成30～令和4年度）に沿って、令和2年度においても、当法人及び当館に求められる使命と役割、施設の安全・安心の確保、経営の安定化に向けた財源確保などの諸課題を踏まえながら、計画目標の着実な達成を目指して努力いたしました。

たが、年間をとおして全国に蔓延した新型コロナウィルスにより利用者が大幅に減少し厳しい運営となりました。

#### (2) 施設利用の促進

サービス向上により施設利用を促進するため、「あつたかサービス実践運動」を引き続き展開するとともに、Wi-Fiや電子案内板デジタルサイネージの導入などアンケート等によりお客様からいただいた声を施設運営に反映させ、親身で真心のこもったサービスを提供し、利用者満足度の向上に努めました。

広報活動では、ホームページ、案内パンフレットや各種メディアを活用しながら、青少年活動のための活動拠点としての当館の機能を積極的にPRし、青少年団体をはじめ、文化・スポーツ団体、学校、企業、官公庁を対象に利用促進を働きかけました。

また、地域住民の皆さんや地元小学校、近隣の公的施設や事業所との連携を深めながら、相互の協力関係の構築に努め、当館施設の一層の利用促進を図りました。

#### (3) 業務の見直しによる経費の節減等

利用者に対するサービスの維持・向上に配慮しながら、経費の節減に向け、業務全般にわたり不断の見直しを行いました。

特に、施設設備の保守管理や修繕、植栽や環境美化等については、可能な限り職員で対応することとし、経費の節減に努めました。

#### (4) 施設設備の維持補修

これまで、耐震補強工事やエレベーター設備リニューアルなどの主要部分の改修に加えて、身障者トイレの多目的トイレへの改修や階段手摺りの増設など、施設のユニバーサルデザイン化や利用者の安全安心に配慮した改修工事を行ってきましたが、令和2年度は、老朽化した受水槽の新設工事等を実施し、引き続き利便性の向上等に向けて取り組みました。

### 2 福島県青少年育成県民会議連携事業

#### (1) ふくしま青少年健全育成セミナー

青少年を取り巻く社会環境の変化に加え、本県の青少年が抱える様々な課題や困難についての理解を深め、青少年と向き合う大人や親の心構えや姿勢などについて考えるためのセミナーを、福島県青少年育成県民会議と共に実施いたしました。

事業名	ふくしま青少年育成セミナー
対象者	① 現在子育て中の方や、青少年の育成に関心のある方 ② 青少年育成団体やPTA、地域団体の指導者など
主な内容	第1回　日時 令和2年8月9日（日） テーマ 「古関裕而と若者たちへの『エール』」 講師 日本大学商学部准教授 刑部芳則 氏 参加者 91名

	<p>第2回　日 時 令和2年9月5日（土）</p> <p>テーマ 「幼児教育・保育」の昔と今</p> <p>講 師 福島認定こども園協会会長 学校法人まゆみ学園理事長 古渡一秀 氏</p> <p>参加者 44名</p>
	<p>第3回　日 時 令和2年11月28日（土）</p> <p>テーマ 「有害情報から子どもを守る」～ネット・スマホをめぐる問題から～</p> <p>講 師 医療創生大学心理学部教授 福島県警察サイバー犯罪対策アドバイザー 中尾 剛 氏</p> <p>参加者 56名</p>
	<p>第4回　日 時 令和3年2月13日（土）</p> <p>テーマ 「みんなちがって みんないいII」 ～障がいと個性を考える～</p> <p>講 師 医療創生大学心理学部教授 山本佳子 氏</p> <p>参加者 49名</p>

## （2）各種大会等への運営協力

福島県青少年育成県民会議が主催する「少年の主張福島県大会」や福島県青少年健全育成推進大会をはじめ、「家庭の日」作文、絵画、ポスターコンクールの審査や優秀作品の館内掲示など、県民会議が行う事業に対して運営面も含めて協力をを行い、同会議との連携を深めました。

## 3 情報収集、提供事業

### （1）ホームページ利活用促進事業

当館が実施する各種事業をはじめ、青少年健全育成活動や青少年の社会参加活動に関する情報を提供するとともに、当館施設の利用促進に向けて、ホームページによる情報発信の強化に努めました。

また、より幅広い新鮮な情報を届けするため、職員のコンピュータリテラシーの向上に努めながら、関係機関や団体との連携を密にしてタイムリーな情報の収集・発信に努めました。

事 業 名	ホームページ利活用促進事業
主 な 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ホームページの適切な管理・運営</li> <li>② 法人組織や事業計画、事業報告等の公表</li> <li>③ 青少年育成事業の紹介や参加呼びかけ</li> <li>④ 青少年会館の施設紹介と利用呼びかけ、予約状況の案内</li> </ul>

## (2) 青少年情報ステーション事業

県内市町村や関係機関の協力を得ながら、青少年に関するイベント情報や子ども・若者支援に関する情報などが掲載されたチラシやポスターを収集し、当館事業の案内パンフレットとともに、それらを専用スペースに設置、掲示して、来館者をはじめとする多くの皆さんに情報の発信を行いました。

事 業 名	青少年情報ステーション事業
主 な 内 容	① 青少年に関する各種情報や資料の収集 ② 資料の展示や掲示、配布 ③ 県内市町村や関係機関との連携 など

## (3) 青少年育成活動の企画支援及び指導者等紹介あっせん事業

青少年の健全育成に関わる各種団体が開催する地域活動、青少年の研修活動、レクリエーション活動などへの支援の一環として、福島県青少年育成県民会議など関係機関や団体と連携して青少年育成関連セミナーの講師の紹介などを行いました。

# 4 青少年健全育成事業

## (1) ふれあいキッズ・プログラム事業

子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化する中、特に、東日本大震災や原発事故によるさまざまな問題を抱える福島の子どもたちに、大人や保護者と一緒に楽しみ、交流を深める場を提供し、地域や家族との絆を深めるきっかけにしていただくためのエンターテインメント・イベントを開催しています。

令和元年度は、開館40周年記念事業と位置付けて実施し、多くの賑わいを生み出すことができたことから、令和2年度においても、当イベントの基本テーマである「体験」をキーワードに据えて、福島県青少年育成県民会議をはじめ趣旨に賛同する団体や企業、NPO法人などに広く参加、協力を呼びかけながら実施を予定しておりましたが、新型コロナウィルス蔓延により来館者への安全・安心を確保出来ないためやむなく中止いたしました。

## (2) すぎのめこども宿（やど）事業

毎年、地域の子どもたち（小学校高学年）を対象に当館の宿泊研修施設や福島市杉妻学習センターを利用する体験型の宿泊訓練事業を実施しております。

令和2年度も7月下旬に2泊3日で実施を予定しておりましたが、新型コロナウィルスの影響により中止いたしました。

## (3) 「夏の思い出」ものづくり体験事業

福島県を代表する伝統工芸品である「会津本郷焼き」の窯元の陶芸家を指導者に迎えて、小学校高学年を対象に、小皿や茶碗を作る陶芸教室を開催いたしました。

この事業は、地域の歴史、伝統にふれながら、自らの「ものづくり」作業をとおし

て、制作過程での課題解決や作品完成時の達成感を体験していただくものです。

事業名	「夏の思い出」ものづくり体験事業
対象者	小学校4～6年生 参加者20名
主な内容	会津本郷焼 宗像窯9代目 宗像利訓（むなかたとしのり）氏を指導者に迎え、陶芸教室を開催。 会場：福島県青少年会館 研修室 期日：令和2年7月25日（土）

#### (4) 福島っ子ガンバレ・レクリエーション普及事業

レクリエーション活動をとおして世代間交流の機会を提供し、福島の子どもたちに「元気と笑顔」を届けるための応援事業を開催しました。

参加者の交流と親睦を深めるため、万人が楽しめる知的卓上ゲーム「マンカラ」の講習会と競技会をセットで組み合わせて、福島県レクリエーション協会との共催で実施しました。

事業名	福島っ子ガンバレ・レクリエーション普及事業
対象者	幼児及びその保護者、児童・生徒・学生、成人 参加者 小中学生25名 一般32名
主な内容	① マンカラ競技の講習会 ② マンカラ交流選手権大会 会場：福島県青少年会館 期日：令和3年2月27日（土）

#### (5) 青少年活動支援事業

##### ① 青少年育成活動助成事業

青少年の健全育成を目的として、当館施設を利用した宿泊体験活動や社会体験活動、自然体験活動などのプログラムを展開する団体を対象に、その活動経費の一部を助成し、当該団体による青少年健全育成活動のさらなる活性化を支援しておりますが、コロナ禍により助成は、1件にとどまりました。

事業名	青少年育成活動助成事業
対象者	当館を利用する子ども会、各種青少年団体、青少年関係NPOなど
主な内容	① 助成を希望する団体を公募しその適格を審査。 ② 活動内容を精査の上、予算の範囲内で規定に沿った助成額を交付。 助成団体 1団体

## ②「成果発表・作品展示」支援事業

青少年が自ら活動している団体や青少年の健全育成を実践している団体の日頃の活動成果を発表する場として、当館のロビーや研修室、ピロティなどを提供する事業を実施しており、作品（絵画、書道等）を展示するためのスペースを用意し、無償で提供しました。

事業名	「成果発表・作品展示」支援事業
対象者	学校のクラブ活動、地区子ども会、地域や職場のサークルなどの青少年団体及び青少年健全育成を推進している団体（営利活動、政治活動、宗教活動等を目的とする団体は除く）
主な内容	青少年が制作した様々な作品の展示スペースを青少年会館内に用意して無料提供することで、来館者をはじめとする多くの方に制作作品を紹介するとともに、青少年のさらなる制作活動を支援。

## ③青少年会館ボランティア団体活動支援事業

当館が実施する事業などにボランティアとして参加協力していただける団体を対象に、その団体が行う青少年育成等の活動を支援していますが、コロナ禍により実績がありませんでした。

## (6)「ひまわり甲子園2021全国大会」支援事業（新規）

ひまわりで全国と福島をつなぐ「福島ひまわり里親プロジェクト」に取り組んでいる人々が集う大会が当館を会場として開催されましたが、コロナ禍により当初の計画が変更されオンラインによる開催となりました。

事業名	ひまわり甲子園2021全国大会支援事業
主な内容	会場使用料等の一部減免や運営、広報等に対する協力等 開催日 令和3年3月6日（土）

## (7) 青少年総合相談センター活動支援事業

福島県青少年育成県民会議が当館において運営している「福島県青少年総合相談センター」においては、寄せられる相談件数が年々増加する傾向を示し、より専門性の高い対応が求められるケースも増えていることから、同センターの活動に対し、引き続き支援いたしました。

事業名	青少年総合相談センター活動支援事業
主な内容	・相談を行う場所と機会の提供 相談日・毎週日・月曜日を除く各日 ・相談業務の周知案内等の広報活動の支援 ・同センター運営委員会等への参画

## (8) 関係団体連携強化事業

当館の施設を利用して研修や合宿を実施する団体のプログラムが効果的・効率的に運営できるようサポート、援助するとともに、当館に入居している青少年関係団体等の活動が一層促進されるよう、支援いたしました。

### ① 当館の宿泊・研修施設を利用する団体

当館施設を利用するお客様がその利用目的を達成できるよう可能な限り協力、支援に努め、お客様のニーズに合わせた調整なども行うことで、お客様それぞれの研修プログラム等が円滑に進められるように努めました。

### ② 各種青少年関連団体等

当館の入居団体（ボーイスカウト福島連盟、ガールスカウト福島県支部、福島県PTA連合会、福島県高等学校PTA連合会、NPO法人福島県レクリエーション協会）をはじめ、青少年活動に関する団体、施設、法人等が実施する取組や事業に対して、積極的に共催や後援を行うとともに、それぞれの団体等が行うイベント事業の告知や参加者募集、活動紹介、活動報告等につきましては、情報コーナーへの掲示などを行い支援いたしました。

### ③ 福島県青少年団体連絡協議会

当館施設建設運動の母体となった福島県青少年団体連絡協議会は、福島県内に組織を有する各種青少年団体の連合組織であり、同協議会との連携を深めながら青少年育成に関する事業を推進いたしました。

## 5 子育てファミリー支援事業

### (1) 子育て支援パスポート事業

「子育て世代」の保護者が、その子どもを伴って当館に宿泊する際に、「子育て支援パスポート」(福島県版は「ファミたんカード」と呼称)を窓口に提示することで、宿泊料を割引きする支援事業を継続実施いたしましたが、コロナ禍により宿泊者が減少しました。

事 業 名	子育て支援パスポート事業
対 象 者	18歳未満の子どもを同伴して宿泊する保護者で、子育て支援パスポート（「ファミたんカード」など）を提示した人
主 な 内 容	子育て支援パスポート（ファミたんカード）の提示により通常成人宿泊料を割引いて青少年料金を適用 2件 2,860円

## 6 ふくしま結婚・子育て応援センター運営事業

結婚を望む人が結婚でき、誰もが安心して子どもを生み育てることのできる環境を整備するため、福島県からの委託を受け、ふくしま結婚・子育て応援センターを運営し、結婚から子育てまでを支援する様々な事業に取り組みました。

なお、結婚、子育て分野におきましてもコロナ禍の影響を大きく受けましたが、全般的に事業内容の見直しや感染対策に努めながら、概ね計画どおり展開出来ました。

### (1) 相談業務

「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」に関する相談員を配置し、電話・面談・メールにより相談に応じるほか、必要に応じて関係専門機関と連携を図りながら対応しました。

事 業 名	結婚、妊娠・出産、子育て相談
対 象 者	一般県民
主 な 内 容	<p>1. 結婚から子育てまで各段階に対応し、面接による直接相談と電話、メールでの相談</p> <p>2. 妊娠・出産、子育てに関しては、関係専門機関と連携を図りながら対応            「結婚」相談・・・世話やき人が担当            「妊娠・出産」、「子育て」相談・・保育士等の資格のある世話やき人及び福島県助産師会が担当</p> <p>3. 相談日            結婚分野・・・・・・金・土曜日            妊娠、出産分野・・・火曜日            子育て分野・・・・木曜日</p> <p>4. 相談利用件数                           3, 897 件            うち結婚分野                           3, 364 件            妊娠・出産分野                       211 件            子育て分野                             322 件</p> <p>5. 子育てファミリーへの支援            ①リフレッシュ体操   1回開催、参加数   8組            ②ベビーマッサージ  13回開催、参加数  80組</p>

## (2) 「世話やき人」の養成及び研修

「結婚」、「妊娠・出産」、「子育て」について助けを必要とする方々を支援するため、様々な支援をボランティア活動で行う「世話やき人」を養成しそのスキルアップを図るため、研修会や情報交換会を開催しました。

事業名	「世話やき人」の養成及び研修
対象者	一般県民
主な内容	<p>① 人材の掘り起こしと登録の促進      ② 「世話やき人」の養成      ③ 世話やき人登録者数 112人（令和3年3月31日現在）          世話やき人延べ人数 152人          うち結婚分野 107人          妊娠・出産分野 14人          子育て分野 31人</p> <p>④ 関係実績（令和3年3月31日現在）          世話やき人による成婚数 21組（累計104組）          世話やき人研修会 11回実施、参加者数97人          世話やき人情報交換会 13回実施、参加者数104人</p>

### (3) ふくしま結婚サポーター企業との連携強化

社会全体で結婚を希望する独身男女の出会い等を応援するため、結婚支援の取組を推進する企業や団体等（以下、「ふくしま結婚サポーター企業」という。）を掘り起します。

また、登録済のサポーター企業に対しては、応援センター事業等を周知することにより企業との連携を深めました。

事業名	ふくしま結婚サポーター企業の掘り起こし等
対象者	一般県民
主な内容	<p>ふくしま結婚サポーター企業の登録数（令和3年3月31日現在）          新規登録数 10団体          累計登録数 444団体</p>

### (4) 婚活イベント及び婚活セミナーの開催

自然な出会いや結婚へのきっかけづくりのため、「はぴ福なび」会員や世話やき人登録者、サポーター企業従業員等を対象とした婚活イベントや婚活セミナーを開催しました。

事業名	婚活イベント及び婚活セミナーの開催
対象者	一般県民
主な内容	<p>婚活イベント・セミナーの開催          オンラインにより開催 2回開催          参加者数 30人</p>

(5) ふくしま結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の運営

平成29年2月に導入した「はぴ福なび」の登録会員を募集し、結婚を希望する男女に対して個別の出会いの機会をサポートしました。

また、「はぴ福なび」の一層の周知を図るため、システムについて説明する動画を作成するとともに、センターが実施する結婚支援事業をWeb広告等により配信しました。

事業名	ふくしま結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の運営										
対象者	一般県民										
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① システムの管理・運営</li> <li>② システム登録会員の募集及び出張登録会の開催</li> <li>③ 期間満了による更新手続</li> <li>④ システム登録会員のフォローアップ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員限定セミナー、交流会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインによるセミナー 4回開催</li> <li>交流会『はぴコン』 2回開催</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>⑤ PR動画の作成及びWeb広告等による配信</li> <li>⑥ 関係実績           <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">登録会員数（令和3年3月31日現在）</td> <td style="width: 60%;">1, 695人</td> </tr> <tr> <td>紹介数</td> <td>60, 085人（累計 121, 411人）</td> </tr> <tr> <td>お見合成立数</td> <td>1, 330人（累計 4, 240人）</td> </tr> <tr> <td>成婚退会者数</td> <td>62人（累計 206人）</td> </tr> <tr> <td>出張登録会（県内各方部で）</td> <td>25回</td> </tr> </table> </li> </ul>	登録会員数（令和3年3月31日現在）	1, 695人	紹介数	60, 085人（累計 121, 411人）	お見合成立数	1, 330人（累計 4, 240人）	成婚退会者数	62人（累計 206人）	出張登録会（県内各方部で）	25回
登録会員数（令和3年3月31日現在）	1, 695人										
紹介数	60, 085人（累計 121, 411人）										
お見合成立数	1, 330人（累計 4, 240人）										
成婚退会者数	62人（累計 206人）										
出張登録会（県内各方部で）	25回										

(6) 市町村へのスーパーバイザー等派遣事業（新規）

これまで、県内市町村がそれぞれ単独で実施してきた婚活イベント等の開催については、参加者の確保を始め、様々な課題が浮き彫りとなってきてることから、世話やき人、スーパーバイザー等を市町村に派遣して結婚支援に関してアドバイスを行うとともに、婚活事業等の開催を支援しました。

事業名	市町村へのスーパーバイザー等派遣事業
対象者	市町村
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市町村訪問事業           <p>各地方振興局及び県内55市町村を訪問し、意見交換、情報収集に努めた。</p> </li> <li>② 市町村が取り組む婚活支援事業への支援、助言等           <p>イベント企画、対策協議会等への参画など</p> </li> </ul> <p>①+②年間活動実績 延べ57回</p>

### (7) ふくしまイクメン事業

安心して出産・子育てできる環境づくりを推進するため、プレパパ及び子育て中の男性の積極的な子育てを後押しする様々な事業を実施しました。

事 業 名	ふくしまイクメン事業
対 象 者	一般県民
主 な 内 容	<p>① プレパパ、子育て中の男性等を対象としたセミナーの開催 ② セミナーの開催と併せた相談会の開催 　　県内 5 方部で延べ 6 回開催 　　参加者数 35 家族 106 人</p>

### (8) 一歩先行く「孫育て」事業

安心して出産・子育てできる環境づくりを推進するため、これから孫が誕生する予定の方や孫がいる祖父母を対象に積極的な孫育ての後押しとなるよう、助産師によるセミナーや三世代交流イベントを実施しました。

事 業 名	一歩先行く「孫育て」事業
対 象 者	一般県民
主 な 内 容	<p>① 孫育て中の祖父母等を対象としたセミナーの開催 　　県内 4 方部で延べ 5 回開催 　　参加者 21 家族 69 人</p> <p>② 三世代交流イベントの開催 　　(イベント開催と併せてセミナー・相談会を開催) 　　福島市で 1 回開催、参加者 112 名</p>

### (9) オンライン婚活サイトの運営

福島県が主催するオンライン婚活サイトの運営業務を受託し、特にコロナ禍の影響を念頭に置いた婚活支援事業に取り組みました。

事 業 名	オンライン婚活サイト「仕合わせ福島」の運営業務
対 象 者	一般県民
主 な 内 容	<p>① オンライン婚活応援サイト「仕合わせ福島」の運営 ② サイトを活用した各種婚活応援事業の実施 　　・オンライン婚活交流会 延べ 11 回開催 　　参加者数 77 人 (応募者数 222 人) 　　・その他オンラインによる婚活講座、婚活相談会を開催</p>

	延べ15回 参加者数45人（応募者数55人）
--	---------------------------

(10) 「結婚・子育て」支援に関する情報発信・提供

ホームページにおいて広く情報発信するほか、当館2階に専用の「情報コーナー」を設置し、県内における結婚から子育てまでに関する様々な情報の提供に努めました。

# 福島県青少年会館利用状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

## 1. 研修室

室名	使用可能日数	使用日数	日数使用率(%)	使用可能単位数	使用単位数	単位使用率(%)	収入額(円)
大研修室	359	148	41.2%	1,076	258	24.0%	6,957,572
小研修室	359	278	77.4%	1,076	549	51.0%	882,470
第1研修室	359	158	44.0%	1,076	288	26.8%	2,787,779
第2研修室	359	124	34.5%	1,076	221	20.5%	1,564,980
第3研修室	359	205	57.1%	1,076	358	33.3%	1,219,530
第5研修室	359	152	42.3%	1,076	262	24.3%	1,843,136
第6研修室	359	206	57.4%	1,076	355	33.0%	1,085,090
和室等	-	-	-	-	-	-	840,016
合計	2,513	1,271	50.6%	7,532	2,291	30.4%	17,180,573

## 2. 宿泊室

室名	使用可能日数	使用日数	部屋稼働率(%)	使用可能人數	使用人数	定員稼働率(%)
301	358	46	12.8%	1,790	74	4.1%
302	358	55	15.4%	1,790	97	5.4%
303	358	7	2.0%	3,580	34	0.9%
305	358	26	7.3%	1,790	35	2.0%
306	358	23	6.4%	1,790	31	1.7%
401	358	32	8.9%	1,790	53	3.0%
402	358	53	14.8%	1,790	81	4.5%
403	358	44	12.3%	1,790	76	4.2%
405	358	38	10.6%	1,790	65	3.6%
406	358	62	17.3%	716	68	9.5%
407	358	37	10.3%	716	40	5.6%
大広間A	358	14	3.9%	5,728	138	2.4%
大広間B	358	14	3.9%	5,728	92	1.6%
合計	4,654	451	9.7%	30,788	884	2.9%

## 令和2年度 月別利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計+	構成比
研	営業単位数	630	651	630	651	651	630	651	630	581	588	588	651	7,532	—
修	青少年	60	52	71	71	70	99	105	86	57	52	66	78	867	37.8%
室	一般	34	16	93	166	128	188	140	136	130	116	141	136	1,424	62.2%
利	計	94	68	164	237	198	287	245	222	187	168	207	214	2,291	100.0%
用	利用率(%)	14.9%	10.4%	26.0%	36.4%	30.4%	45.6%	37.6%	35.2%	32.2%	28.6%	35.2%	32.9%	30.4%	—
体	営業時間数	360	372	360	372	372	360	372	360	332	336	336	372	4,304	—
育	青少年	96	153	149	159	224	183	177	185	200	225	97	270	2,118	86.0%
館	一般	14	8	48	47	27	32	37	40	32	20	10	31	346	14.0%
利	計	110	161	197	206	251	215	214	225	232	245	107	301	2,464	100.0%
用	利用率(%)	30.6%	43.3%	54.7%	55.4%	67.5%	59.7%	57.5%	62.5%	69.9%	72.9%	31.8%	80.9%	57.2%	—
宿	営業人數	2,580	2,666	2,580	2,666	2,666	2,580	2,666	2,580	2,322	2,408	2,408	2,666	30,788	—
泊	小・中学生	0	0	0	0	0	30	11	22	15	1	0	33	135	15.3%
利	青少年	1	2	0	0	39	13	10	8	22	2	2	273	372	42.1%
用	一般	54	8	25	22	41	55	59	32	15	11	8	47	377	42.6%
利	計	55	10	25	22	103	98	80	62	52	14	10	353	884	100.0%
用	利用率(%)	2.1%	0.4%	1.0%	0.8%	3.9%	3.8%	3.0%	2.4%	2.2%	0.6%	0.4%	13.2%	2.9%	—

(注) 12月28日は、研修室及び体育館の利用時間は17時まで、宿泊は使用できません。

## 過去5か年利用者区分別 利用状況集計表

年 度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
内訳 利用者区分	合計	構成比 (件・時間・人)	合計	構成比 (件・時間・人)	合計	構成比 (件・時間・人)	合計	構成比 (件・時間・人)	合計	構成比 (件・時間・人)	
	青少年	1,145	34.9%	1,138	34.1%	999	37.8%	1,115	38.4%	867	37.8%
研修室	一般	2,134	65.1%	2,197	65.9%	1,646	62.2%	1,789	61.6%	1,424	62.2%
	合 計	3,279	100.0%	3,335	100.0%	2,645	100.0%	2,904	100.0%	2,291	100.0%
	利用率(%) (利用件数/ 21件×稼働日) ※H28.H29は18件	50.8%		51.7%		44.6%		49.1%		30.4%	
体育館	(稼働日数359日)		(稼働日数359日)		(稼働日数359日)		(稼働日数360日)		(稼働日数359日)		
	青少年	2,173	74.6%	2,238	75.6%	2,173	74.6%	2,279	77.0%	2,118	86.0%
	一般	739	25.4%	722	24.4%	740	25.4%	681	23.0%	346	14.0%
利宿泊	合 計	2,912	100.0%	2,960	100.0%	2,913	100.0%	2,960	100.0%	2,464	100.0%
	利用率(%) (利用時間数/ 12時間×稼働日)	67.7%		68.8%		67.6%		68.6%		57.2%	
	(稼働日数359日)		(稼働日数359日)		(稼働日数359日)		(稼働日数360日)		(稼働日数359日)		
利利用	小・中学生	1,217	20.3%	985	19.9%	766	22.7%	747	19.7%	135	15.3%
	青少年	2,592	43.3%	2,205	44.5%	1,507	44.7%	1,621	41.2%	372	42.1%
	一般	2,175	36.3%	1,767	35.6%	1,102	32.7%	1,428	37.6%	377	42.6%
利利用	合 計	5,984	100.0%	4,957	100.0%	3,375	100.0%	3,796	100.0%	884	100.0%
	利用率(%) (利用人数/ 82人×稼働日)	20.3%		16.8%		15.0%		12.8%		3.0%	
	(稼働日数358日)		(稼働日数358日)		(稼働日数303日)		(稼働日数359日)		(稼働日数358日)		

(備考)宿泊利用の小・中学生には、幼児を含んでいます。

# 福島県男女共生センター事業実施状況

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

福島県男女共生センターでは、本県の男女共同参画の実現をめざす拠点施設として広く県民に利用されるよう機能の充実に努めるとともに、男女共同参画に関する様々な情報を発信する情報事業、男女の自立と社会参加を促進するための自立促進事業、自主的な交流を支援する交流関連事業などを実施しました。

## 1 管理運営事業

男女共同参画社会実現のための実践的活動拠点として、センターの3つの機能（情報機能、自立促進機能、交流機能）を十分発揮できるよう、効果的・効率的な施設の管理・運営に努めたほか、原子力災害により避難された方に対し、避難により困難になっている地域コミュニティ活動の維持や地域生活における紛を深める活動を支援するため、宿泊料助成を実施するなど、東日本大震災の被災地・被災者の支援に取り組みました。

また、多くの人々に親しまれ、利用しやすい施設を目指して、研修室や宿泊室等施設設備の一部改修等の環境整備を行い、利用促進に努めました。

なお、新型コロナウィルス感染症の影響により、施設の利用はかなり減少しました。

※令和2年度 施設利用状況 別紙のとおり

## 2 情報関連事業

男女共同参画についての情報、専門図書、資料などを収集・提供し、男女が新しいパートナーシップを確立するための自己啓発及び活動等を支援しました。

また、情報ネットワークの充実を図るとともに、県外男女共同参画施設の協力を得て、県外の避難者へも広報紙が閲覧できるようにしたほか、広く情報を発信しました。

### (1) 情報事業

#### ア 図書室運営

図書室において、男女共同参画社会形成の促進に寄与する図書や資料等約4万点を備え、閲覧及び貸出により利用に供しました。

内 容	・ 購入図書・資料の選定 令和2年度購入図書 241冊 ・ 図書・資料の収集、分類、整理並びに貸出、返却管理 図書貸出利用者数 延べ 1,435名 図書貸出冊数 延べ 3,536冊（うちDVD等6点） ・ レファレンスサービス レファレンスサービス件数 延べ 703件
-----	--

#### イ 情報提供

センターの活動内容をはじめとする男女共同参画に関する情報を、ホームページ及びメールマガジン（月1回発行）により提供しました。

内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターホームページアクセス件数 延べ 132, 229件</li> <li>・センターメールマガジン配信件数（月1回） 1, 050件 (令和3年3月末現在)</li> </ul>
-----	---

#### ウ 広報活動

男女共同参画の考え方や、センターの活動内容について、広報誌「未来館 NEWS」を発行し紹介するとともに、県政広報その他各種媒体を活用し、普及啓発・周知を図りました。

内 容	<p>広報誌「未来館 NEWS」第75号～77・78合併号発行 各5, 000部</p> <p>県内の図書館、公民館、高等学校、市町村担当課、各都道府県担当課、全国の男女共同参画施設及び各種関係団体などに送付</p>
-----	--

#### (2) 調査研究事業

男女共同参画社会の形成を推進するため、現状を把握し、問題解決への道を探るための調査研究を行いました。

##### 地域課題調査・研究事業

県内の男女共同参画を推進するために重要な地域の課題やその解決方法について調査・研究を公募し、実施しました。

内 容	<p>「福島県のスポーツ界における女性の活躍促進のための調査研究」</p> <p>研究代表者：蓮沼哲哉氏（福島大学地域スポーツ政策研究所 准教授）</p>
-----	---

### 3 自立促進事業

#### (1) 普及啓発事業

男女共同参画に関する講座や講演会などを開催し、男女平等に向けた意識変革をしながら、男女が互いに個人として自立し、責任を担う力を持つて共に社会参画できるよう支援しました。

事業名	男女共生地域連携意見交換会
対象者	自治体・企業の女性活躍促進担当者
内 容	<p>男女共同参画社会の実現に向け、県民の意識の醸成や地域特有の課題等解決の糸口を探るため、企業の担当者や地域住民と館長が、意見交換を行いました。</p> <p>(1) 未来館トークサロン in 会津若松 開催日：令和3年1月13日（水） 会 場：會津稽古堂 内 容：企業における女性の活躍促進やワーク・ライフ・バランスなどをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合いました。 参加者：4名 共 催：会津若松市</p> <p>(2) 未来館トークサロン in 西会津 開催日：令和3年3月25日（木）</p>

	<p>会 場：西会津町役場</p> <p>内 容：地域で女性が活躍するために必要なことをテーマとし、互いの活動や取組等を話し合いました。</p> <p>参加者：10名</p> <p>共 催：西会津町</p>
--	---

事業名	男女間における暴力の防止と被害者支援事業
対象者	県民
内 容	<p>県民を対象とし、DVやセクシュアル・ハラスメント、性暴力などの根絶を図るための啓発事業として、講演会を実施しました。</p> <p>開催日：令和2年11月21日（土）</p> <p>講 師：阿部 真紀氏（認定NPO法人エンパワメントかながわ理事長）</p> <p>内 容：講演会「デートDVって知っていますか？～10代の3組に1組は起きている!?～」</p> <p>参加者：20名</p>

事業名	ダイバーシティ理解促進事業
対象者	県民
内 容	<p>性的マイノリティをテーマに、ダイバーシティの考え方についての理解を深め、多様性を認める社会の実現を目指した講演会を開催しました。</p> <p>開催日：令和2年9月5日（土）</p> <p>参加者：69名</p> <p>内 容：講演会「多様な性について知ろう～LGBTからSOGIへ～」</p> <p>講 師：渡邊 歩氏（早稲田大学GSセンター職員、郡山市出身）</p>

事業名	市町村男女共同参画促進事業
対象者	県民
内 容	<p>市町村等における男女共同参画推進のため、男女共同参画に関するパネルの貸出を実施したほか、市町村男女共同参画計画策定に関する支援を実施しました。</p> <p>(パネルの貸与)</p> <p>○郡山市：令和2年11月 9日（月）～11月17日（火） 12月12日（土）～12月25日（金）</p> <p>○三春町：令和2年10月31日（土）から11月11日（水） (計画策定に関する支援)</p> <p>対象：2町村 (南会津町、飯館村)</p>

事業名	キラっ人さん活躍促進事業
対象者	県内企業の経営者・管理職等
内 容	<p>女性活躍促進に向けた気運の醸成や、職場・家庭における男女の意識改革を進めるため、女性活躍や働き方改革をテーマとした講演会及びトークセッションを開催しました。</p> <p>○講演会及びトークセッション 開催日：令和2年11月5日（木） 会 場：ビッグパレットふくしま 参加者：135名 (講演会) 「新しい働き方と女性活躍～コロナが変えた価値観と働き方～」 講師：健康社会学者（Ph.D）河合 薫氏 (トークセッション) 「人生を豊かにする新しい働き方」 講演会終了後、講師を交え福島県知事、県内で活躍している女性、女性活躍等に取り組んでいる県内企業の代表者によるトークセッションを開催しました。 出演者：小林 しのぶ氏 (一般社団法人 fukucier (ふくしえる) 代表理事) 佐藤 光信氏（日本精測株式会社 代表取締役会長） 河合 薫氏（健康社会学者（Ph.D）） 内堀 雅雄（福島県知事）</p>

事業名	地域女性活躍推進事業
対象者	市町村等
内 容	<p>地域における男女共同参画の取り組みを促進するため、職員をアドバイザーとして派遣し、地域における課題等の抽出や施策に関する助言提案等を実施しました。</p> <p>対象：国見町、磐梯町、猪苗代町、三春町、川内村</p>

事業名	次世代スクールプロジェクト事業
対象者	県内小学生、中学生、高校生
内 容	<p>県内小・中・高校と連携し、互いの性と人権を尊重することの大切さや自分らしさを發揮する大切さを考えるために連携授業を実施しました。</p> <p>(実施校19校、実施回数44回、参加者2,015名)</p> <p>○連携授業 (1) 福島県立二本松工業高等学校 ・第1回</p>

	<p>開催日：令和2年6月23、26日（火、金） 参加者：1年生（95名）、教職員（4名） 内 容：多様な性 講 師：センター職員</p> <p>・第2回 開催日：令和3年1月27、28日（水、木） 参加者：2年生（116名）、教職員（4名） 内 安容：男女共同参画・多様な性 講 師：センター職員</p> <p>(2) 相馬市立向陽中学校 開催日：令和2年6月24日（水） 参加者：3年生（98名）、教職員（8名） 内 容：性別にとらわれない職業選択 講 師：センター職員</p> <p>(3) 福島県立安達高等学校 ・第1回 開催日：令和2年7月22、30日（水、木） 参加者：1年生（147名）教職員（2名） 内 容：多様な性 講师：センター職員</p> <p>・第2回 開催日：令和2年12月15、17日（火、木） 参加者：2年生（160名） 内 容：デートDV 講师：センター職員</p> <p>(4) 福島県立郡山北工業高等学校 開催日：令和2年7月29日（水） 参加者：1年生（28名）、教職員（2名） 内 容：男女共同参画 講 師：センター職員</p> <p>(5) 福島県立会津学鳳高等学校 第1回 開催日：令和2年9月16日（水） 参加者：1年生（29名）、教職員（1名） 内 容：多様な性 講 師：センター職員</p> <p>・第2回 開催日：令和2年10月21日（水） 参加者：1年生（40名）、教職員（1名） 内 容：性別にとらわれない職業選択</p>
--	---

	<p>講 師：センター職員</p> <p>(6) 若草教室（鏡石町教育委員会）</p> <p>開催日：令和2年10月7日（水）</p> <p>参加者：2, 3年生（3名）、教職員（2名）</p> <p>内 容：性別にとらわれない職業選択</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(7) 福島県立あさか開成高等学校</p> <p>開催日：令和2年10月15日（木）</p> <p>参加者：2年生（173名）、教職員（7名）</p> <p>内 容：男女共同参画</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(8) 福島県立安達東高等学校</p> <p>開催日：令和2年10月16日（金）</p> <p>参加者：1年生（40名）、教職員（5名）</p> <p>内 容：デートDV</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(9) 福島県立須賀川高等学校</p> <p>開催日：令和2年10月28日（水）</p> <p>参加者：教職員（20名）</p> <p>内 容：多様な性を理解する</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(10) いわき市立上遠野中学校</p> <p>開催日：令和2年11月5日（木）</p> <p>参加者：1～3年生（81名）、教職員（9名）</p> <p>内 容：性別にとらわれない職業選択</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(11) 福島県立保原高等学校（定時制）</p> <p>開催日：令和2年11月11日（水）</p> <p>参加者：1～4年生（45名）、教職員（10名）</p> <p>内 容：デートDV</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(12) 福島県立いわき総合高等学校</p> <p>開催日：令和2年11月16、20日（月、金）</p> <p>参加者：2, 3年生（73名）、教職員（7名）</p> <p>内 容：多様な性と人権</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(13) 福島県立会津工業高等学校</p> <p>開催日：令和2年12月10、11日（木、金）</p> <p>参加者：3年生（220名）、教職員（6名）</p> <p>内 容：ハラスメント</p>
--	---

	<p>講 師：センター職員</p> <p>(14) 福島県立福島中央高等学校 開催日：令和3年2月10日（水） 参加者：1～3年生（21名）、教職員（4名） 内 容：男女共同参画</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(15) 福島県立いわき光洋高等学校 開催日：令和3年2月19日（金） 参加者：1年生（194名）、教職員（8名） 内 容：男女共同参画・多様な性</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(16) 福島県立修明高等学校 開催日：令和3年2月24日（水） 参加者：1年生（79名）、教職員（2名） 内 容：男女共同参画</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(17) 川俣町立川俣中学校 開催日：令和3年2月25日（水） 参加者：3年生（88名）、教職員（6名） 内 容：男女共同参画</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(18) 福島県立福島工業高等学校 開催日：令和3年3月16、17、18日（火、水、木） 参加者：2年生（151名）、教職員（1名） 内 容：男女共同参画・多様な性</p> <p>講 師：センター職員</p> <p>(19) 白河市立白河中央中学校（※資料提供のみ） 開催日：令和2年5月26日（火） 参加者：教職員（25名） 内 容：学校の中のジェンダー</p>
--	---

事業名	交流室ロッカー・交流展示スペース管理・運営
対象者	県民
内 容	<p>男女共同参画社会の推進を目的とした活動を行う団体等に、ロッカーと活動の成果品を展示する場の貸し出しの他に、男女共同参画推進を目的とした広報物の展示等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流室ロッカー貸出件数 5件</li> <li>・交流展示スペース貸出件数（のべ） 2件</li> </ul>

事業名	パネル展 ※自主
対象者	県民
内 容	<p>○男女共同参画週間パネル展 男女共同参画週間（6／23～6／29）に併せて、男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、イクボス等をテーマとした啓発パネルを展示了しました。</p> <p>開催日：令和2年6月23日（火）～6月30日（火）</p>

## (2) 研修事業

男女共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を發揮することができる男女共同参画社会に向け、家庭や仕事、地域活動などの生活のあらゆる場面においてその実現を阻害する固定的性別役割分担意識を解消するための事業や、男女のライフスタイルや社会情勢の変化に伴い多様化する課題・ニーズに合わせ個人が自発的に課題解決を図ることができるようエンパワーメントする事業を開催しました。

事業名	未来館エンパワーメント塾
対象者	働いている（これから働きたい）女性
内 容	<p>女性活躍を推進するため、女性が職場や地域でリーダーになることを前向きに捉え、自身の能力・スキルに自信を持って活躍できるよう女性の人才培养を図るためのセミナーを開催しました。</p> <p>※第1回～第3回はオンライン実施、第5回はホームページ掲載 「働き女子のごほうびセミナー」</p> <p>○第1回 開催日：令和2年9月19日（土） 参加者：12名 内 容：「後輩を育て、成果を上げるチームをつくる」 講 師：なかむら アサミ氏（サイボウズ株式会社チームワーク総研 シニアコンサルタント）</p> <p>○第2回 開催日：令和2年10月3日（土） 参加者：11名 内 容：「これまでの自分を振り返り、人生100年時代のキャリアを考える」 講 師：星野 雅子氏（行政書士、女性労働協会認定講師、（株）Miyabi 代表取締役社長）</p> <p>○第3回 開催日：令和2年10月24日（土） 参加者：11名 内 容：「自己主張（アサーティブ）トレーニング」 講 師：丹羽 麻子氏（NPO法人日本フェミニストカウンセリング学</p>

	<p>会認定カウンセラー)</p> <p>○第4回</p> <p>開催日：令和2年11月14日（土）</p> <p>参加者：6名</p> <p>内 容：「こころとからだを癒すピラティス」</p> <p>講 師：宮谷 理恵氏（Rainbow Moon-虹月-主宰、イベルPエグゼクティブインストラクター）</p> <p>○第5回</p> <p>内 容：インタビュー「働くということ」</p> <p>ゲスト：庄子 まゆみ氏（南相馬市復興企画部長）</p> <p>インタービュアー：千葉 悅子（福島県男女共生センター館長）</p>
--	--

事業名	男性のための男女共同参画基礎講座
対象者	県内企業の管理職、社員、県民
内 容	<p>男女が、年齢や性別に関わらずさまざまな分野で活躍するため、職場や家庭、地域において男女共同参画の視点による「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取れた生き方について考える機会を提供し、企業や個人の課題解決・実践を支援しました。</p> <p>○イクボス養成講座 ※オンライン実施</p> <p>開催日：令和3年2月16日（火）</p> <p>参加者：43名</p> <p>内 容：講演「ウィズコロナ時代に変わる働き方 十社十色の働き方 改革 キーパーソンは“イクボス”」</p> <p>講 師：川島 高之氏（NPO法人ファザーリング・ジャパン理事）</p> <p>○男性のための男女共同参画基礎講座「父子の料理教室」</p> <p>開催日：令和2年12月12日（土）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター</p> <p>講 師：渡辺 真夏氏 (イタリア料理教室「ブオナ・フォルケッタ」主宰)</p> <p>内 容：男性の家事参画支援を目的とした料理教室</p> <p>参加者：父子3組6名</p>

事業名	女性のチャレンジ応援講座
対象者	就職・再就職を希望する女性（育児・介護などのために離職している女性等）
内 容	<p>起業を考えている女性を対象に、起業への心構えやその方法、魅力あるサービスや商品づくり等について学ぶ講座を開催しました。</p> <p>※オンライン実施</p> <p>開催日：令和2年11月8日（日）</p>

	<p>参加者：9名</p> <p>内 容：</p> <p>○講義「ゼロから1へ最初の一歩を踏み出そう！女性起業の現状と成功のコツ」 講師：重巣 敏子氏（キャリアコンサルタント、リファインアカデミー株式会社代表取締役、東北起業女性応援ネットワーク事務局）</p> <p>○女性起業家紹介 女性起業家（サロン運営や飲食・製造販売、ものづくりなど業種別で4名）の起業までの経緯や現在の事業説明等を行いました。 ※コーディネーター：重巣 敏子氏</p> <p>○グループセッション 女性起業家と参加者とで、起業や運営等に関することについて意見交換を行いました。</p>
--	--

事業名	教師のための次世代育成人権セミナー
対象者	県内の教職員、教育事務所並びに市町村教育委員会・男女共同参画推進部局の関係者
内 容	<p>教職員等を対象とし、人権や男女共同参画の正しい認識を深めるとともに、児童生徒への指導実践に資する講座を開催しました。</p> <p>開催日：令和2年9月5日（土）</p> <p>参加者：17名</p> <p>内 容</p> <p>○講義「学校における男女共同参画」 講師：櫛田 みゆき（福島県男女共生センター主査）</p> <p>○講話1・2「研修から見えたこと、伝えたいこと」 講師1：今野 友華氏（福島市立矢野目小学校教諭） 講師2：畠山 正儀氏（福島県立修明高等学校鮫川校教諭）</p> <p>○講演会（ダイバーシティ理解促進事業講演会） 講師 渡邊 歩氏（早稲田大学G Sセンター職員）</p> <p>※福島県教育委員会との共催事業として開催</p>

事業名	研修講師派遣事業
対象者	県民
内 容	<p>市町村、企業やNPO等の市民団体が実施する男女共同参画を推進する研修及び学習会等に当センター職員等を派遣するほか、外部講師の情報提供を行い、地域における男女共同参画社会実現に向けた取組を支援しました。</p> <p>(1) 職員派遣</p>

	<p>派遣回数： 1回（参加者数： 17名）</p> <p>(2) アドバイザー派遣</p> <p>派遣回数： 2回（参加者数： 58名）</p>
--	---

事業名	市町村男女共同参画担当者研修
対象者	市町村担当者
内 容	<p>(1) 市町村男女共同参画担当者研修 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。</p> <p>(2) 市町村男女共同参画担当者会議 開催日：令和3年2月10日（水） 会 場：福島県男女共生センター 第2研修室 参加者：22名（18市町村21名、県振興局1名） 内 容：            ○あいさつ 山之内 誠氏（県生活環境部男女共生課 課長）            ○福島県男女共生課からのお知らせ            担 当：遠藤 渉氏（県生活環境部男女共生課主事）            ・市町村男女共同参画プラン策定状況            ・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画 等            ○福島県男女共生センターからのお知らせ            担 当：センター職員            ・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画 等            ○事例紹介            「みんなで進める男女共同参画～男女共同参画プランに沿った事業実施の工夫～」            発表者：清野 真理氏（伊達市市民生活部市民協働課協働推進係            主任主事）            ○講演「男女共同参画社会って何？」            講 師：千葉 悅子（福島県男女共生センター館長）  <p>(3) 福島県市町村男女共同参画担当者座談会 開催日：令和3年3月9日（火） 会 場：福島県男女共生センター 第3研修室 参加者：4名（4市町4名） 内 容：男女共同参画施策実施における、課内や庁内の協力や連絡体制、プランに沿った事業実施、審議会運営、市民団体との連携等について話し合いました。</p> </p>

事業名	復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業
対象者	自治体職員、社会福祉協議会職員
内 容	(1) 男女共同参画の視点からの防災研修 ※オンライン実施

	<p>「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」（内閣府男女共同参画局作成）や避難所運営シミュレーションツール「さすけなぶる」（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター作成）を用いて、地域における復興・防災における男女共同参画の推進を担う人材育成研修を行いました。</p> <p>開催日：令和3年2月25日（木）</p> <p>参加者：22名</p> <p>①講義 「復興防災における男女共同参画・多様性の視点の必要性」 担当：センター職員</p> <p>②グループワーク 「さすけなぶる」 講師：北村 育美氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター客員研究員）</p> <p>(2) 多様性配慮の視点での防災・減災 地域防災組織等メンバーを対象として、男女共同参画及び多様性配慮の視点による防災ワークショップ等を行いました。</p> <p>開催日：令和2年9月11日（金）</p> <p>会 場：福島県男女共生センター 第2研修室</p> <p>参加者：13名（白河人権擁護委員協議会東白川地区部会） 担当：センター職員</p>
--	--

事業名	再生・復興女性リーダー育成事業
対象者	復興やコミュニティづくりの活動を行っている女性（男性も参加可）
内 容	<p>復興のあらゆる場や組織への女性の参画拡大を図るため、地域において福島の再生・復興を担う女性のネットワーク構築や参加者各自の活動事例などの情報交換等を行いました。</p> <p>開催日：（1）令和2年10月1日（木） （2）令和3年3月3日（水）※オンライン</p> <p>会 場：（1）みんなの交流館 ならはCANVAS （2）※オンライン実施</p> <p>参加者：（1）8名 （2）13名</p> <p>事例発表者：（1）鈴木 みなみ氏（一般社団法人とみおかプラス） （2）菅野 瑞穂氏（一般社団法人まちづくりなみえ）</p> <p>コーディネーター：北村 育美氏（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター客員研究員）</p>

事業名	未来館WLB・女性活躍サポート事業 ※自主
対象者	<p>（1）健康づくりに関心のある県民 （2）起業及びセミナー等講師を始めた女性</p>

内 容	<p>ワーク・ライフ・バランスの推進に関する講座を開催しました。また、起業したい女性やセミナー等講師として活躍したい女性の支援を行いました。</p> <p>(1) 未来館“きらり”講座「カラダのバランス改善！ヨガ講座」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。</p> <p>(2) 講師デビュー支援事業 起業及びセミナー等講師を始めたい女性が主催するセミナー等について、センター会場の提供、広報の協力、セミナーの運営協力を行いました。</p> <p>採用件数：2件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「チエアヨガ講座」</li> <li>②「コミュニケーション講座」</li> </ul>
-----	--

事業名	オンライン研修等導入に向けた環境整備事業
内 容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、男女共生センターで実施している各種研修等について WEB 会議システム Zoom や YouTube を活用したオンライン研修等の導入に向けた環境整備を行いました。</p> <p>(1) オンライン研修等導入に向けた機器の整備（パソコン・マイク・ビデオカメラ・照明等）</p> <p>(2) ホームページ改修（動画の配信対応）</p> <p>(3) マニュアル作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①動画編集マニュアルの作成</li> <li>②動画配信マニュアルの作成</li> <li>③WEB 会議システム Zoom 研修マニュアルの作成</li> </ul> <p>(4) 研修 WEB 会議システム Zoom を使用した研修、研修動画の撮影・編集及び YouTube 等を活用した動画配信までの一連の業務内容を学ぶための研修</p>

### (3) 相談事業

男女が自立し、生き生きとして生きがいのある人生を送ることができるよう、日常生活から生じる様々な問題や悩みに関する相談や、配偶者からの暴力(ドメスティックバイオレンス)に関する相談及びこれらに関する情報提供を行いました。

事業名	一般相談
対象者	県民
内 容	<p>性別にとらわれず生き生きと生きていくために、広く生活全般に係る相談を行いました。</p> <p>相談内容：広く生活全般に関する相談 配偶者等からの暴力に関する相談</p>

	<p>男性相談員による相談</p> <p>相談方法：電話・面接</p> <p>相 談 員：男女共生相談員（嘱託職員）2名、男性相談員1名</p> <p>相談件数：1, 087件</p>
--	--

事業名	専門相談
対象者	県民 ※カウンセリングは女性限定
内 容	<p>法律問題や健康に関することについて、専門家による相談を行いました。</p> <p>相談内容：法律相談（月1回、2時間）相談件数 14件 健康相談「女性による女性のためのカウンセリング」 (月2回、各回一人1時間程度) 相談件数 8件</p> <p>相談方法：面接（予約制）</p> <p>相 談 員：法律相談 弁護士 健康相談（カウンセリング）女性臨床心理士</p>

事業名	チャレンジ支援相談
対象者	内職や就業（再就職）を希望する女性等
内 容	<p>内職希望者からの相談や内職求人受付、あっせんのほか、女性の就業援助に関する相談、情報提供を行いました。</p> <p>相談方法：電話・面接</p> <p>相 談 員：女性就業援助相談員（嘱託職員） ※配置個所 男女共生センター及び県内3ヶ所（郡山、会津若松、いわきの県地方振興局内）に相談コーナーを設置</p> <p>相談件数：934件 内職あっせん者数：118名</p>

#### (4) 介護実習・普及センター事業

高齢者介護の実習等を通じて、地域住民への基礎知識、介護技術の普及を図るとともに、「高齢化社会は国民全体で支えるもの」という考え方を地域住民に広く啓発する事業を実施するほか、福祉用具の展示並びに住宅改修を含めた相談体制の整備等を行いました。

事業名	介護実習・普及事業
対象者	県民、介護専門職員
内 容	<p>介護の実習等を通じて、県民への介護知識、介護技術の普及を図るために、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に業務を委託して各種講座等を実施しました。</p> <p>（1）県民介護講座の実施</p>

	<p>初級介護講座、介護ワンポイント講座、介護実技基本講座、オーダーメイド介護講座、認知症サポートキャラバン関連研修          実施講座数：34回、34日          参加者数：686名</p> <p>(2) 地域介護専門職員研修の実施（介護専門職員を対象）          地域アセスメント研修、企画力アップ研修、相談援助面接研修、福祉用具・住宅改修研修、排泄ケア研修、ピンポイント介護技術研修          実施講座数：15回、25日          参加者数：201名</p> <p>(3) 福島県介護研修事業検討委員会の開催          ※書面開催</p>
--	--

事業名	福祉用具・住宅改修普及支援事業
対象者	県民
内 容	<p>(1) 福祉機器展示室の運営          福祉機器展示室において、各種用具を展示するとともに、福祉機器企画相談員（嘱託職員2名）を配置し、一般県民からの福祉用具・住宅改修に関する相談を受け、助言指導を行いました。          来所者数：2,271名          相談件数：161件（相談内容件数213件）          相談内容：移動機器（34件）、パーソナルケア関連（63件）</p> <p>(2) 福祉用具・住宅改修普及支援協議会の開催          福祉用具・住宅改修の普及事業の円滑な実施を図るため、理学療法士、作業療法士、建築士、福祉用具取扱業者、行政関係者からなる協議会を開催し、優良な機器の選考・展示方法及び住宅改修相談等について検討を行いました。          ※書面開催</p>

#### 4 交流関連事業

##### (1) 交流関連事業

県民が、主体的に男女共同参画についての問題に取り組む実践的活動拠点としての機能を発揮するため、自主的な交流の場として男女共生センターを提供するとともに、男女の平等と自立を目指す個人や様々な団体・グループ間の相互交流を促進するための事業を実施しました。

事業名	未来館フェスティバル
対象者	県民
内 容	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

事業名	男女共生次世代交流会
対象者	県内の高校や大学、専門学校の学生 等
内 容	<p>若者世代を対象として、ライフステージごとの生き方、女性が継続して働くことなど、男女共同参画や女性の活躍推進のテーマ等での学習や参加者同士の交流を図る機会を提供しました。</p> <p>(1) 「ふくしま “けんせつ・どぼく女子” 座談会」</p> <p>内 容：県内の建設・土木会社で働く女性から、仕事の魅力・やりがいや一日の生活の様子などを聞き、また、働く女性を交えた意見交換を行いながら、女性が建設・土木業界で働く意欲の向上や、学生同士のネットワークづくりを行いました。</p> <p>①郡山会場 開催日：令和2年11月4日（水） 会 場：福島県立郡山北工業高等学校 参加者：15名</p> <p>②いわき会場 開催日：令和2年11月26日（木） 会 場：福島県立勿来工業高等学校 参加者：17名</p> <p>③会津会場 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。</p> <p>(2) 「ライフキャリアセミナー」 男女共同参画の視点によるキャリア教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 開催日：令和2年10月9日（金） 会 場：福島県立葵高等学校 参加者：2, 3年生 387名、教職員 10名 ※放送大学福島学習センターとの連携事業</li> <li>・第2回 開催日：令和2年12月4日（金） 会 場：福島県立福島南高等学校 参加者：1年生 143名、教職員 6名 講 師：吉高神 明氏（放送大学福島学習センター客員教授、福島大学経済経営学類教授）</li> </ul> <p>内 容：労働者の権利やリーガルリテラシー、セクシュアルマイノリティ理解等、これから働く上で参考となるテーマでの授業を行いました。</p>

事業名	民間団体支援事業
対象者	県内で活動中または活動予定のグループ・団体
内 容	<p>県内のNPO等のグループが主体となって自主的に企画・実施する講座やワークショップ等を公募して、センターが企画・広報・チラシ作成の協力、会場・設備等の提供、運営協力等の支援を行いました。</p> <p>採択件数：5件</p> <p>採択企画（団体）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①子どもに「性」を伝えたいあなたへセミナー (こどものみらいを考える「やきいも」)</li> <li>②デートDV相談ダイアル（ウィメンズスペースふくしま）</li> <li>③女性行政書士による女性のための無料相談会（福島県行政書士会）</li> <li>④パパカフェ（爽ユニバーサルデザイナーズ）</li> </ul> <p>※主催者体調不良のため中止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤震災・原発事故と福島の女性たち (（一社）国際女性教育振興会福島県支部)</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。</p>

事業名	開館20年記念事業
対象者	県民
内 容	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

## 福島県男女共生センター施設利用状況

		日数基準		区分(定員)基準		収入額(円)	前年比
		可能室数	使用室数	可能区分数	使用区分数		
令和2年4月	研修室	286 室 前年比 -33.6 %	27 室 9.4 %	814 室 前年比 -18.7 %	47 室 5.8 %	86,000	-341,860
	宿泊室	484 室 前年比 -41.0 %	19 室 3.9 %	1,100 人 前年比 -26.5 %	25 人 2.3 %	101,400	-1,050,300
令和2年5月	研修室	297 室 前年比 -36.1 %	4 室 1.3 %	847 室 前年比 -21.7 %	6 室 0.7 %	0	-482,300
	宿泊室	506 室 前年比 -37.7 %	13 室 2.6 %	1,150 人 前年比 -27.4 %	13 人 1.1 %	13,200	-1,236,000
令和2年6月	研修室	275 室 前年比 -40.8 %	56 室 20.4 %	781 室 前年比 -28.9 %	93 室 11.9 %	120,200	-410,440
	宿泊室	462 室 前年比 -17.6 %	164 室 35.5 %	1,050 人 前年比 -12.1 %	172 人 16.4 %	570,400	-662,550
令和2年7月	研修室	297 室 前年比 -31.0 %	75 室 25.3 %	847 室 前年比 -25.7 %	114 室 13.5 %	261,800	-373,054
	宿泊室	506 室 前年比 -11.6 %	160 室 31.6 %	1,150 人 前年比 -11.0 %	177 人 15.4 %	784,600	-248,086
令和2年8月	研修室	286 室 前年比 -20.4 %	90 室 31.5 %	803 室 前年比 -15.0 %	164 室 20.4 %	368,400	-208,960
	宿泊室	462 室 前年比 -36.8 %	90 室 19.5 %	1,050 人 前年比 -22.2 %	121 人 11.5 %	488,300	-868,050
令和2年9月	研修室	286 室 前年比 -19.6 %	130 室 45.5 %	814 室 前年比 -18.8 %	251 室 30.8 %	475,870	-199,230
	宿泊室	484 室 前年比 -30.4 %	96 室 19.8 %	1,100 人 前年比 -16.9 %	114 人 10.4 %	484,500	-693,600
令和2年10月	研修室	297 室 前年比 -1.7 %	142 室 47.8 %	847 室 前年比 -4.6 %	296 室 34.9 %	487,100	-95,600
	宿泊室	506 室 前年比 -33.4 %	77 室 15.2 %	1,150 人 前年比 -18.1 %	94 人 8.2 %	346,800	-762,250
令和2年11月	研修室	275 室 前年比 -7.3 %	127 室 46.2 %	770 室 前年比 -5.4 %	230 室 29.9 %	381,300	-141,680
	宿泊室	440 室 前年比 -43.6 %	91 室 20.7 %	1,000 人 前年比 -23.3 %	105 人 10.5 %	462,000	-678,300
令和2年12月	研修室	264 室 前年比 -0.7 %	109 室 41.3 %	748 室 前年比 0.5 %	203 室 27.1 %	293,600	-194,360
	宿泊室	440 室 前年比 -19.5 %	52 室 11.8 %	1,000 人 前年比 -10.5 %	54 人 5.4 %	262,400	-850,600
令和3年1月	研修室	264 室 前年比 -7.6 %	88 室 33.3 %	759 室 前年比 -3.0 %	162 室 21.3 %	199,900	-93,920
	宿泊室	462 室 前年比 -17.6 %	72 室 15.6 %	1,060 人 前年比 -12.6 %	77 人 7.3 %	224,700	-214,900
令和3年2月	研修室	264 室 前年比 -7.5 %	111 室 42.0 %	759 室 前年比 -0.4 %	214 室 28.2 %	237,400	-139,900
	宿泊室	462 室 前年比 -5.0 %	85 室 18.4 %	1,050 人 前年比 -4.0 %	95 人 9.0 %	403,000	-411,100
令和3年3月	研修室	286 室 前年比 18.9 %	142 室 49.7 %	814 室 前年比 13.1 %	244 室 30.0 %	545,740	331,916
	宿泊室	484 室 前年比 5.2 %	134 室 27.7 %	1,100 人 前年比 3.1 %	157 人 14.3 %	743,600	99,364
合計	研修室	3,377 室 前年比 -15.8 %	1,101 室 32.6 %	9,603 室 前年比 -10.1 %	2,024 室 21.1 %	3,457,310	-2,349,388
	宿泊室	5,698 室 前年比 -24.5 %	1,053 室 18.5 %	12,960 人 前年比 -15.4 %	1,204 人 9.3 %	4,884,900	-7,576,372

※宿泊人数は、6歳未満の幼児が寝具を使用しないで宿泊した人数を除く。

8,342,210

-9,925,760

## (別紙)

## 福島県男女共生センター利用状況

## 1 研修室

施設名	令和2年度				
	使用可能日数	使用日数	日数使用率(%)	使用可能単位数	単位使用率(%)
研修室一ル	307	51	16.6	873	114 13.1
多目的研修室	307	150	48.9	873	276 31.6
特別会議室	307	45	14.7	873	69 7.9
第1研修室	307	145	47.2	873	236 27.0
第2研修室	307	137	44.6	873	309 35.4
第3研修室	307	149	48.5	873	287 32.9
第4研修室	307	133	43.3	873	249 28.5
第5研修室	307	158	51.5	873	272 31.2
調理室	307	14	4.6	873	20 2.3
工作室	307	65	21.2	873	102 11.7
研修用和室	307	54	17.6	873	90 10.3
合計	3,377	1,101	32.6	9,603	2,024 21.1

## 2 宿泊室

宿泊室	使用可能部屋数	使用部屋数	使用率(%)	使用可能人数	使用人数	使用率(%)
	使用可能部屋数	使用部屋数	使用率(%)	使用可能人数	使用人数	使用率(%)
	5,698	1,053	18.5	12,960	1,204 9.3	5,698 2,449 43.0 12,950 3,202 24.7

施設名	令和元年度				
	使用可能日数	使用日数	日数使用率(%)	使用可能単位数	単位使用率(%)
研修室一ル	309	73	23.6	877	146 16.6
多目的研修室	309	213	68.9	877	403 46.0
特別会議室	309	94	30.4	877	135 15.4
第1研修室	309	229	74.1	877	370 42.2
第2研修室	309	158	51.1	877	345 39.3
第3研修室	309	184	59.5	877	370 42.2
第4研修室	309	206	66.7	877	358 40.8
第5研修室	309	208	67.3	877	391 44.6
調理室	309	99	32.0	877	158 18.0
工作室	309	93	30.1	877	141 16.1
研修用和室	309	89	28.8	877	189 21.6
合計	3,399	1,646	48.4	9,647	3,006 31.2